

循環器科初期臨床研修プログラム(必修内科)

研修責任者 若林 康

研修期間 必修期間（4 週または 8 週）、2 年次選択期間（4 週～）

I. 研修到達目標

一般目標(GIO ;General Instruction Objective)

循環器疾患の診断、治療に必要な基本的な知識、技能を身につける。

行動目標(SBOs ;Structural Behavior Objectives)

循環器疾患に特徴的な病歴、現症が適切に取れる。

循環器疾患に特徴的な血液検査のオーダー、評価が出来る。

胸部レ線の読影が出来る。

心電図の判読が出来る。

心エコーの実践と判読が出来る。

各種シンチグラフィの読影が出来る。

心臓 MRI の読影が出来る。

心臓 CT の読影が出来る。

スワングアンツカテーテル検査が出来る。

II. 方略(研修場所：外来、病棟、救急外来、臨床検査室、画像診断室、病棟カンファレンス室)

研修指導医とともに、主に病棟患者を受け持つてその診断、治療を行う。

週間スケジュール

月～金 朝： 入院患者プレゼン

月～水、金 午前： 負荷心筋シンチ、トレッドミル、心肺運動負荷試験

月～金 午前・午後： 心臓カテーテル検査、PCI、カテーテルアブレーション

火曜日 夕： 心カテ読影

木曜日 朝： 心臓血管外科とのカンファレンス

金曜日 午後： 病棟カンファレンス

III. 学会活動

日本循環器学会、日本内科学会、日本心血管インターベンション治療学会等、総会、地方会での演題発表など。

IV. 評価

指導医により、実地診療の場において評価を行う。

V. 複数月ローテートした際にできること

- ・能力に応じて手技を多めに経験することができる